

「鉄より強い」「軽く断熱効果」

夢のプラスチック 研究

山形大、米沢に新拠点 自動車産業と連携

山形大学工学部（山形県米沢市）は18日、地球環境に優しい素材研究の拠点となる「グリーンマテリアル成形加工研究センター」を開設する。「鉄より強いプラスチック」など低コストで付加価値の高いプラスチックの研究開発拠点となる。同センターは4階建て、

延べ床面積2914平方メートル、事業費は8億1270万円。プラスチックの成型加工は山形大が「得意とする分野」（飯塚博・工学部長）。現在、トヨタ自動車をはじめ20以上の企業との共同研究を進めている。二酸化炭素（CO₂）や硫黄といった石油由来ではない原料からプラスチックをつくる研究などを手掛ける。山形大はさらに「有機材料システムフロンティアセンター」を建設中だ。

2015年6月18日(木)

日経新聞(東北版)より